



【宮古盛岡横断道路（宮古箱石道路）】

そけいちく
磯鶏地区でトンネルの安全祈願祭を開催

～ 磯鶏トンネル（仮称）の工事に本格着手 ～

宮古箱石道路（復興支援道路）は、震災復興のリーディングプロジェクトとして1日も早い完成を目指し、従来にないスピードで事業を進めているところです。

このたび、宮古箱石道路の「磯鶏トンネル（仮称）（延長 1,554m）」に本格着手することとなりました。

つきましては、被災地の1日も早い復興と工事の安全を祈念して、安全祈願祭を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

- 日 時 : 平成29年10月31日（火）15:00から（約1時間00分）
- 場 所 : 宮古市磯鶏地内・・・別紙-1（案内図）参照
- 主 催 : （施工者）大成建設株式会社 東北支店
- 安全祈願祭の概要
 - ・ 神 事（鍬入れ）
 - ・ 工事概要説明
 - ・ 発注者挨拶
 - ・ 来賓祝辞
- 事業概要 : 別紙-2
- その他 : 雨天の場合も実施します。
《 発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会 》

問い合わせ先

【今回の式典や施工内容に関する問い合わせ】

○ 国道106号 磯鶏地区道路工事

大成建設株式会社 東北支店 国道106号磯鶏地区道路工事作業所
〒027-0021 宮古市藤原二丁目2番地16

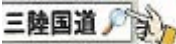
所 長 ^{やました} 山下 ^{かつのり} 勝紀 電話 0193-77-5162

【事業に関する問い合わせ】

○ 国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所

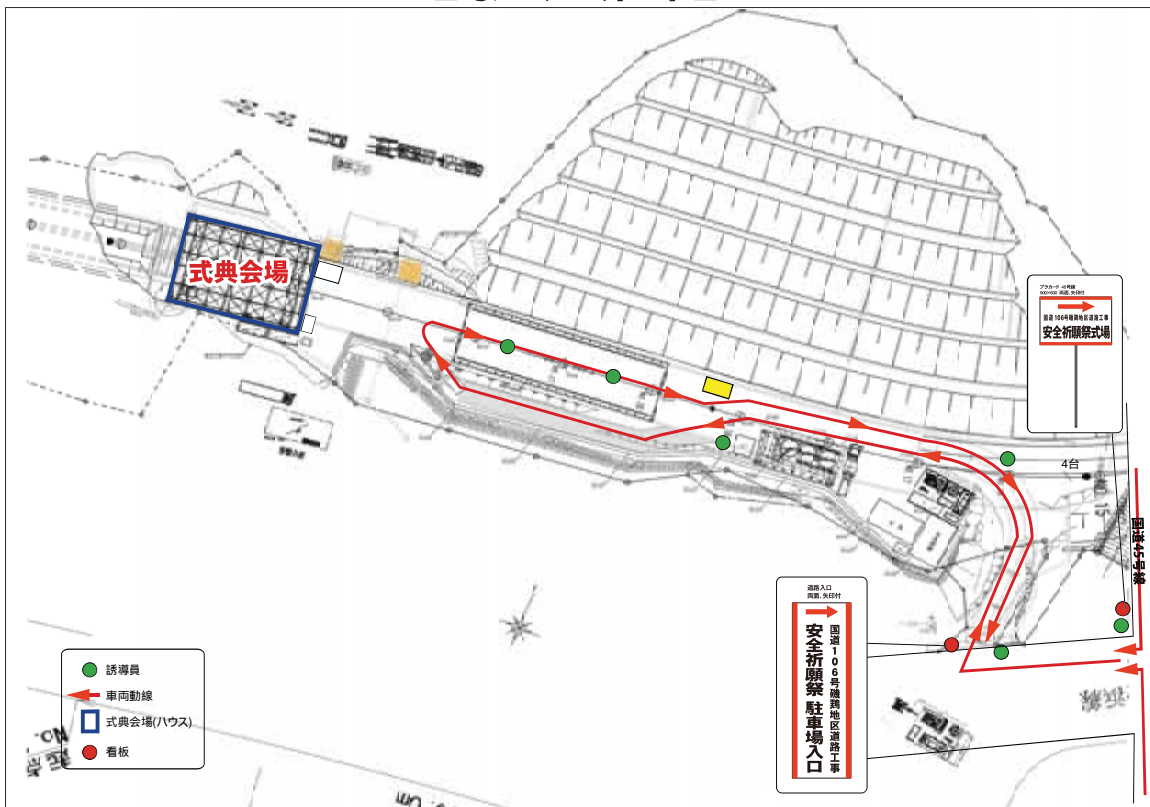
副 所 長 ^{ひらおか} 平岡 ^{ひろし} 弘志（内線 204）電話 0193-62-1711（代表）

宮古西維持出張所 所長 ^{さとう} 佐藤 ^{ひろゆき} 寛之 電話 0193-71-1760

（復興支援道路・宮古盛岡横断道路については、 で検索できます。）



【拡大図】



宮古箱石道路（宮古～箱石） L = 33 km

路線概要

宮古盛岡横断道路は、宮古市と盛岡市を結ぶ全長約100kmの地域高規格道路であり、そのうち「宮古箱石道路(宮古～箱石)」は宮古市藤原から箱石間の約33kmにおいて、岩手県より権限代行で整備する区間です。

国道106号の線形不良区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により県都盛岡市と宮古市間のアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

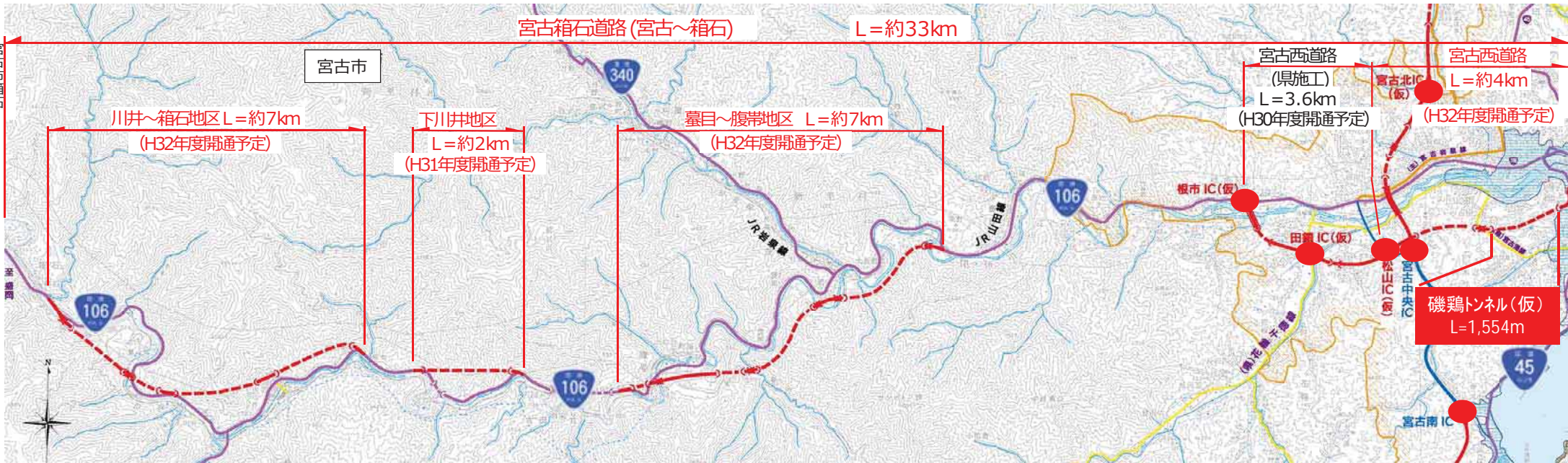
平成29年度は、用地買収、改良工事、トンネル工事、橋梁工事を促進し、平成31年度に下川井地区、平成32年度に宮古市藤原～松山IC(仮)、曇目～腹帯地区、川井～箱石地区の開通を目指します。

計画諸元

宮古箱石道路(宮古～箱石)	
起 点	宮古市藤原
終 点	宮古市箱石
延 長	33km
工 区	(宮古西道路)※国施工分 (曇目～腹帯地区、下川井地区、川井～箱石地区)
幅 員	2車線 13.5m 2車線 12.0m
構造規格	第1種第3級 第3種第2級
設計速度	80km/h 60km/h



久慈方面から松山IC(仮)付近を望む



宮古市藤原

宮古市箱石

災害時における緊急輸送路の確保

- 東日本大震災では、津波被害により幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止めが発生
- 宮古箱石道路は、大規模災害時の緊急物資輸送や迅速な復旧活動を支援

▼三陸沿岸地域への緊急輸送道路

岩手県の緊急支援物資物流拠点（滝沢市）

国道106号 救援支援物資輸送612回
3月12日～4月末：県トラック協会契約分



▼津波により寸断された国道

写真① 宮古市愛宕交差点



写真② 宮古市磯鶏地区



迅速な救急搬送で安全・安心な住民生活に寄与

- 宮古市内国道106号沿線地域の管外搬送は、全て盛岡市内の高度医療施設へ救急搬送
- 宮古箱石道路は、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全・安心な住民生活に寄与

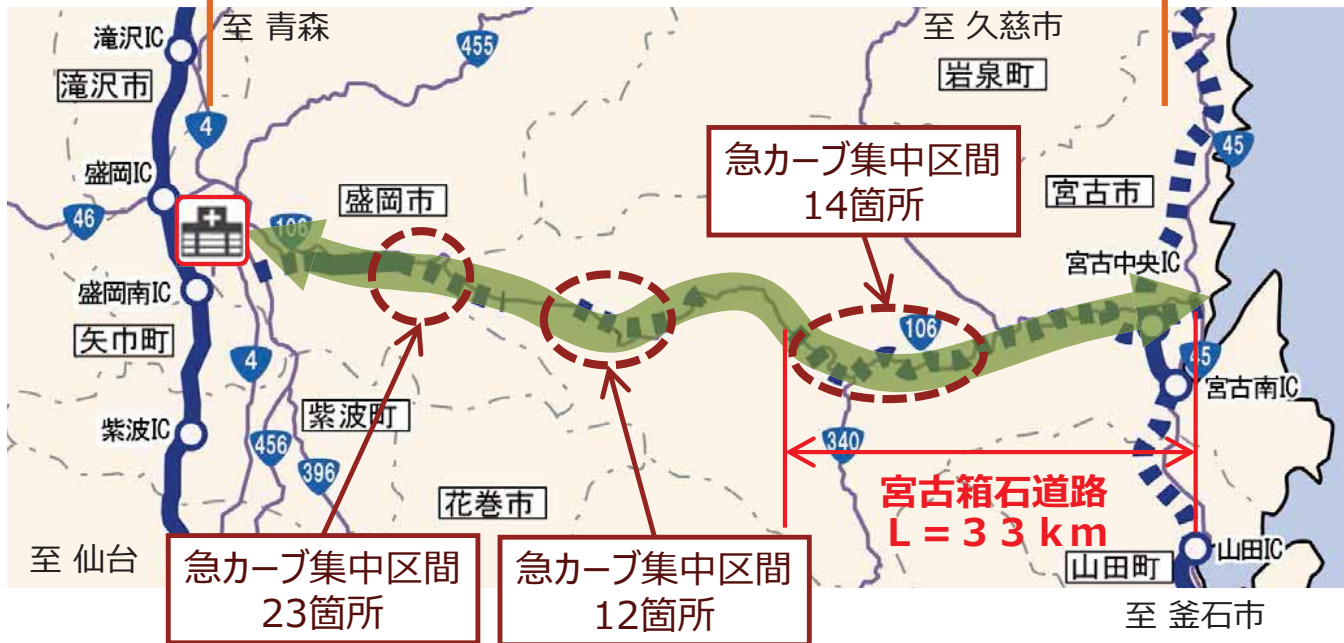
▼ 国道106号は線形不良箇所（急カーブ等）が多い

全面通行止（過去10年間）

回数：22回

合計時間：111時間

資料：岩手県（H17-H26）



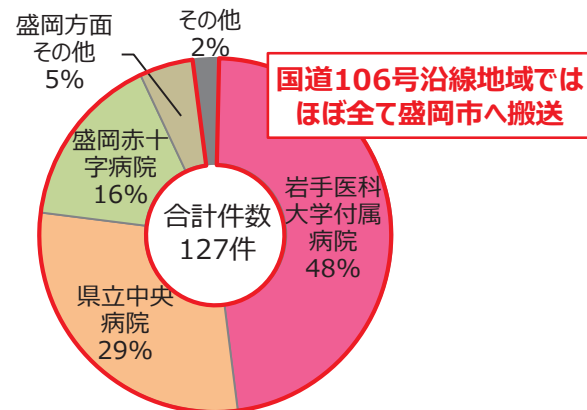
宮古～箱石区間の国道106号

急カーブ箇所
(R<150m)
14箇所

宮古箱石道路

急カーブ箇所
(R<150m)
0箇所

▼ 宮古市内国道106号沿線地域の宮古地区外への搬送状況（H28）



※ 国道106号沿線地域
宮古消防署・新里分署・川井分署
資料：宮古地区広域行政組合
消防本部搬送実績

▼ 区界地区の急カーブ状況



新たな観光ルートの誕生で観光振興に期待

- 三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在
- 三陸沿岸道路の整備で、高規格道路による広域周遊ルートが形成され観光振興に期待

内陸の観光地



八幡平
(八幡平市入込客数
: 175万人/年)



遠野盆地
(遠野市入込客数
: 168万人/年)



展勝地
(北上市入込客数
: 133万人/年)

世界遺産 平泉
(平泉町入込客数195万人/年)

中尊寺



毛越寺



三陸復興国立公園

浄土ヶ浜(宮古市)



(宮古市入込客数 : 122万人/年)

船越半島大釜崎 (山田町)



(山田町入込客数 : 23万人/年)

碁石海岸 (大船渡市)



(大船渡市入込客数 : 100万人/年)

三陸ジオパーク

小袖海岸(久慈市)



(久慈市入込客数 : 79万人/年)

北山崎(田野畑村)



(田野畑村入込客数 : 55万人/年)

龍泉洞 (岩泉町)



(岩泉町入込客数 : 43万人/年)

※資料: 岩手県観光統計(平成27年、平成28年)

フェリー就航で北海道との広域交流が活性化

- 宮古港～室蘭港間で、新たなフェリー航路が開設(岩手県初の運航)。
- 三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路の整備による、県内各地や仙台圏、首都圏とのアクセス性向上等が航路選定の理由。
- 北海道と東北、首都圏間の交流・物流を活発化させ、東北の復興の加速化に寄与。

■復興道路・復興支援道路の整備とフェリー航路

▼フェリー航路図



▼宮古港周辺の道路整備状況



▼平成27年11月に宮古港でフェリー乗船会が開催され、カーフェリー「シルバークイーン」が寄港



▼航路概要

(川崎近海汽船株式会社プレスリリースより抜粋)

- 開設時期 **平成30年6月22日決定 (H29.9.1発表)**
- 運行計画 1日1往復、毎日運行
- 選定理由
 - ①急ピッチで進められている**復興道路等の早期開通により宮古港から県内各地や仙台圏、首都圏へのアクセスが大幅に向上**
 - ②トラックドライバーの休憩時間8時間を確保できる最適な航路
 - ③両港とも近隣の**観光資源が豊富で旅客需要に期待**
 - ④自治体がフェリー航路の誘致に積極的であり、**トラック事業者等からの期待も大きい。**

▼観光入込客数の推移と期待

(※宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村)

